



ひと2006

十勝の産学官連携 促進事業のまとめ役 佐山 晃司さん

文部科学省が十勝地方で進める「都市エリア産学官連携促進事業」の科学技術コーディネーターを務める。ジャガイモやナガイモといった十勝産農作物の付加価値を高めることを目指す事業で、帯広畜産大や参加企業の間に入って意見を調整する役だ。「十勝の農作物を利用した新産業を創出したい」と意気込む。

この事業では、現在は試作製造に携わる参加企業に対して、優先使用権など、将来のメリットを説明して協力してもらっている」と申し訳なきそうに語る。

農作物使い新産業を

北大農学部卒業後、日本甜菜製糖(東京)に就職。六十五歳まで道内各地の製糖工場や帯広の研究所に勤務した。在職中に二年間、帯広大客員教授を務めた経験を買われ、昨年、コーディネーターに就任した。

十勝での同事業は今年で二年目を迎え、成果が徐々に表れている。ジャガイモから取り出したアミノ酸結合物質ホテトペプチドの粉末には、血中コレステロールを減らして動脈硬化などを予防する効果があることが分かった。生体が機能維持に密着する「機能性食品」として、商品化につながるなどの期待が高まっている。と二人暮らし。趣味はそば打ち。七十歳。(中野剛)